

令和 5 年度 医学部解剖慰霊祭が執り行われました

令和 5 年度の医学部解剖慰霊祭が 6 月 3 日にしめやかに執り行われました。学生、医師の教育と研究のために献体された 73 柱並びに、病気の原因を調べる病理解剖学のために供された 18 柱の御尊霊に対し、参加者一同により哀悼の意を表しました。

今年は人数制限を設けた昨年からさらに一步進めて、従来通りの方法で慰霊祭を開催することができました。6 月 3 日土曜日にご遺族と来賓、医学部学生、千葉大学教職員、医師、大学院生、千葉白菊会役員で解剖慰霊祭を開催し、さらに 6 月 5 日月曜日に献花台を設置して慰霊祭に来場できなかった方々も献花を行いました。

慰霊祭では、医学部学生代表による「感謝のことば」が奉読され、医学のためにお体を捧げられた方々の御霊に対しご冥福をお祈り致しました。

最後に三木医学部長より謝辞が述べられ、滞り無く閉会となりました。

台風 2 号による交通網の混乱で参列できなかったご遺族もいらっしゃったようです。しかし、奇跡的に慰霊祭の開始 30 分前から一気に青空が広がりました。ご遺体の先生とご遺族との数年ぶりとなる再会の場を準備して参りましたが、天も味方してくれたようです。感謝と敬意を込めてすべての方々をお見送りすることができました。

(文責：環境生命医学 講師 鈴木崇根)



追悼のことばを述べる三木医学部長



感謝のことばを述べる医学部 3 年生代表



最後は全員でお見送りできました

*千葉白菊会・・・千葉大学医学部における医学の教育・研究のために死後自らの遺体を無条件・無報酬の精神で献体する篤志団体です。現在・未来の医学はこの献体制度無くしては成り立ちません。千葉大学医学部として心より感謝申し上げます。

(URL: <https://www.m.chiba-u.ac.jp/dept/shiragikukai/>)